令和７年度守谷市立松前台小学校グランドデザイン

【守谷市の教育目標】
○　新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して
【取り組むべき重点課題と重点施策】
1　確かな学力の育成　　2　豊かな心を育む教育の推進
3　健康と体力を育む教育の推進　4　地域とともにある学校づくり
【もりやの学校のニューノーマル3】
新しい時代を生きぬく人づくり
○　学力の向上　　○　いじめゼロ　「いじめ・不登校ゼロパック＋（プラス）」
守谷市の教育が目指しているのは、「時代の壁を乗り越えたウェルビーイングな守谷の教育」です。「未来の教育もりや　プロジェクト 2025」の始動です。
御所ケ丘中学区の各小中学校においても
「ニューノーマルな学校づくり」を積極的に推進します。



【学校教育目標】
自らの力をひらき、心豊かにたくましく生きる児童の育成
【校訓】勉強する子　思いやりのある子　元気な子

今年度の重点目標【組織目標】
体験活動を取り入れた豊かな学びの展開
児童を主役とした特色ある学校風土の創出
学校教育に活力をもたらす働き方改革の推進

【御所ケ丘中学校区の目標】
未来に向かってたくましく生きる児童生徒の育成

【御所ケ丘中学校区一貫教育の重点目標】
【御所ケ丘中学校区一貫教育で進めるニューノーマルな学び方】
→９年間を見通したつながりの教育
■　「守谷型ラーニングスタイル」における ICT とのベストミックス（学習支援アプリ・生成 AI の活用）を図った授業づくりの推進
■　「守谷型ブラッシュアップ研修」による協同的な授業づくりの推進
■　世界とつながる「守谷型英語・グローバル教育」の推進
オンライン英会話の活用
【御所ケ丘中学校区一貫教育で進めるニューノーマルな心の教育】
→いじめ・不登校ゼロパック＋（プラス）の推進
■　「いじめ防止プログラム」の継続実施
・発達に応じた「いじめ防止プログラム」の実施
・いじめをなくそう仲良し週間　ロング昼休み
■　「守谷型ＳＳＷ」（中学校区に１人）の活用

学校経営の方針

社会の変化にしなやかに対応しながらたくましく生きる力を育む学校づくり
1　体験的な活動に重点をおいた豊かな学びを展開し、児童に夢と希望を育む。
2　教職員の資質・能力を高め、教育目標の実現を目指す組織力の向上を図る。
3　社会に開かれた教育過程を推進し、保護者や地域との連携・協働体制を構築する。

目指す学校像

○児童にとって学ぶ喜びを実感できる学校
○職員にとって働きがいを見い出せる学校
○保護者・地域にとって信頼・期待を寄せられる学校

目指す教師像

○人間性豊かで個に応じた配慮ができる教師
○高い使命感をもち、指導力の向上に励む教師
○児童・保護者・地域から信頼される教師

確かな学力の育成

1　授業改善研修の計画的実施
→「関わる力」の育成に重点を置いた授業展開の工夫
守谷型ｅラーニングを活用した協働学習の推進
2　探究型学習の充実と読書活動の推進
→学校図書館司書や守谷中央図書館との連携
3　英語教育・国際教育の充実
→専科授業やオンライン英会話によるスキル向上
4　夢や希望を育む教育の推進
→異校種交流（もりや幼保園、守谷高校等）職場見学の実施
5　個別最適な学習の充実
→デジタルドリルの活用　家庭学習の習慣化
6　特別支援教育の充実
→個別の指導計画・個別の教育支援計画の活用
【数値目標】
・授業が分かると回答する児童　９３％以上
・簡単な英会話ができると回答する児童　９０％以上
・夢や希望をもっていると回答する児童　９０％以上

豊かな心を育む教育の推進

1　基本的生活習慣の定着といじめ・不登校ゼロパックの取組充実
→いじめをなくそう仲良し週間の実施　いじめ防止授業の自校化
生活アンケートと教育相談の充実　フリースペース支援体制構築
2　自主性・主体性を育む自治的活動の推進
→児童会活動の活性化　行事内容の充実
3　体験的な活動や地域との交流を通した社会性、思いやりの心の醸成
→公園探検　町探検　自然探検　稲作体験　社会科見学
異校種等交流　学習内容と関連付けた出前授業　等
【数値目標】
・学校へ来ることが楽しいと回答する児童　９０％以上
・自己を肯定的に捉えられる児童　９０％以上
・いじめはどんなことがあってもいけないと回答する児童１００％

地域とともにある学校づくり

1　保護者・地域への積極的情報発信→ホームページ　ポータルサイトの活用　授業公開
2　コミュニティ・スクールの推進→もりやコミュニティ・スクールボランティアバンクの活用
里山の会による授業補助
3　学校評価の効果的活用→多面的アンケートの実施　結果の分析と学校運営への反映
【数値目標】
・情報発信に対する保護者の満足度　９３％以上
・もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク活用　１０回以上

健康と体力を育む教育の推進

1　体力の向上→ロング昼休みを活用した外遊び奨励　体力アップ運動の強化
2　健康教育の推進→外部講師を活用した薬物乱用防止教室や生（性）教育の実施
3　安全教育の充実→地域連携防災教室の実施　多様な訓練の実施
【数値目標】
・体力テストＡ＋Ｂ　６０％以上
・健康で安全な生活を心がけていると回答する児童　９０％以上